

第51回(平成29年度) 全国子ども会育成中央会議・研究大会 開催のご案内

期 日：平成30年2月23日(金)～25日(日)

受付：2月23日(金)12:00～13:00 / 開会式：13:00～

会 場：びわ湖大津プリンスホテル

〒520-8520 滋賀県大津市におの浜4-7-7 TEL：077-521-1111

1日目：開会式・表彰式、記念講演
受賞者を囲む会・情報交換会

2日目：分科会

3日目：全体会

主催 公益社団法人全国子ども会連合会

共催 近畿地区子ども会連絡協議会

後 援 (申請中)

内 閣 府 文部科学省 厚生労働省

滋賀県 滋賀県教育委員会 大津市 大津市教育委員会

公益財団法人日本レクリエーション協会 公益社団法人全国公民館連合会

社会福祉法人全国社会福祉協議会 財団法人全国老人クラブ連合会

全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国高等学校長協会

全国国公立幼稚園・こども園長会 全日本私立幼稚園連合会 公益社団法人全国私立保育園連盟

滋賀県小中学校長会 滋賀県PTA連絡協議会

社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 滋賀県青少年育成県民会議 滋賀県青少年団体協議会

日本教育新聞社 朝日新聞社 産経新聞社 毎日新聞社 読売新聞社

京都新聞 中日新聞社 NHK大津放送局 BBCびわ湖放送



公益社団法人
全国子ども会連合会

開催趣旨

公益社団法人全国子ども会連合会は、その目的を「子ども会活動の助成に関する事業を行い、子どもの社会生活に必要な徳性の涵養及び子どもの健全育成に寄与すること」と定めており、この目的達成を目指して活動を進めております。しかしながら子どもを取り巻く環境が日々変化する中で、会員の減少、指導者・育成者の不足と高齢化など問題が山積しております。

こうした状況を打開すべく、全子連では平成28年度から地区の活動を活性化させるとともに助成・支援を柱とし地区推進研究会を、平成29年度からは地域の代表者、学識経験者らを含めた子ども会未来委員会を開設し、社会の動向を取り入れながらも地域性にたった計画を進めることや、シニア(ユース、青年)・リーダーの力を借りて子ども会活動をさらに活発に推進するための一歩を踏み出しました。

現在の子どもたちは、あまりに忙しく遊ぶ暇もない状態で、このままでは「保護者の理解と参加で子ども会活動の活性化」は困難です。その遊びも、一人遊びが主になって、「シニア、ジュニア・リーダーが進める 子どもの手による子ども会」活動から離れていきます。これらのことから、異年齢集団の体験活動を通して「子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能」の伝承は、ますます希薄になり、このままでは地域社会との関わりが消滅してしまうのではないかと危惧されます。

本大会を開催するにあたり、当地“母なる琵琶湖”に触れ合いながら、「遊びが子どもの成長に最も大切であり、遊びは子どもの力である」という原点をもう一度見つめ直したいと思います。原点を問い直すことを通して全子連の今後の事業計画につなげ、未来の子ども会のあるべき姿を発見する機会になることを期待します。

テーマ 「 遊びは子どもの力 」 ～しなやかな感性を持った子どもの育成を～

プログラム

| 1日目 (2月23日・金曜日) | | | 2日目 (2月24日・土曜日) | | | 3日目 (2月25日・日曜日) | | |
|-----------------|---|----------------------|-----------------|----------------------------|-----------|---|---------------------|--------|
| 時刻 | 内容 | 会場 | 時刻 | 分科会番号・担当 | 会場 | 時刻 | 内容 | 会場 |
| | | | 9:00 | 1, 滋賀県 | 淡海1 | 9:00 | 大津プリンス棧橋に集合 | 船・ヒアンカ |
| | | | | 2, 大阪府 | 淡海2 | 9:30 | 全体会 | |
| | | | | 3, 奈良県 | 淡海3 | | 分科会の発表 | |
| | | | | 4, 和歌山県 | 淡海5 | | 総評 | |
| | | | | 5, 兵庫県 | 淡海6 | | 閉会式 | |
| | | | | 6, 全子連コース (9:00~16:00) | 淡海7 | | | |
| | | | | 10, 琵琶湖博物館 (9:00~16:00) | 船移動 | 12:00頃 | 大津港着→ びわ湖大津プリンス着 | |
| 12:00 | 受付 | びわ湖大津プリンスホテル・プリンスホール | 12:00 | 昼食 | 各会場 | | | |
| 13:00 | 開会式・表彰式 | | 13:00 | 7, 全子連・大分県 | 淡海5 | | | |
| | | | | 8, 子ども会未来委員会 | 淡海6 | | | |
| | | | | 9, 滋賀県 (遊びの宝島へGo!) | 淡海 8~9 | | | |
| 14:30 | 記念講演 「スマホ時代の 子どもたちのために」 竹内 和雄氏 | | | 16:00 | 終了 | | | |
| 16:00 | 伝統芸能発表 「はちまん江州音童」 | | | 自由時間 | | | | |
| 16:30 | オリエンテーション 移動・チェックイン | | | | |  | | |
| 17:00 | 表彰者記念撮影 | | | | | | | |
| 18:30~ 20:30 | 受賞者を囲む会・ 情報交換会 | 淡海 | | | | | | |

□2月23日（金）第1日目

❖びわ湖大津プリンスホテル・プリンスホール❖

■開会式・表彰式 13:00～14:15

●開会式

1. 開式の言葉
2. 国歌斉唱
3. 開会の辞
4. 主催者挨拶
5. ご来賓祝辞
6. 歓迎の挨拶
7. ご来賓紹介
8. 閉式の言葉

●表彰式

1. 開式の言葉
2. 表彰状及び感謝状、記念品の授与
個人表彰 指導者・育成者
団体表彰 指導者組織及び育成組織、シニア・リーダー組織
奨励賞 感謝状
3. お祝いの言葉
4. 謝辞
5. 閉式の言葉

地域の子ども会活動を長年支えてくださった方々に対し、表彰を行います。

個人は、20年以上子ども会活動に従事し、すでに都道府県・指定都市の連合組織の表彰を受けている方が対象となります。団体は、10年以上活動を続ける市区町村連合組織・指導者組織等を対象とします。奨励賞は、都道府県・指定都市子ども会連合組織の10年ごとの節目に贈呈しています。

■記念講演 14:30～15:45

「スマホ時代の子どもたちのために」 ～遊びの変化に焦点を当てて～

兵庫県立大学環境人間学部准教授 竹内 和雄 氏

〈講師紹介〉

公立中学校で20年生徒指導主事等を担当（途中小学校兼務）。寝屋川市教委指導主事を経て2012年より現職。生徒指導を専門とし、いじめ、不登校、ネット問題、生徒会活動等を研究している。文部科学省、総務省等で、子どもとネット問題についての委員を歴任。NHK「視点・論点」「クローズアップ現代」等にも出演。毎日新聞に「竹内先生の教育論～スマホっ子の風景」連載中。ウィーン大学客員研究員。



■伝承芸能発表 子ども江州音頭一座「はちまん江州音童」 16:00～

滋賀県の伝統文化を子ども達に伝承する目的で、平成23年5月“江州音頭”の子ども塾を開講しました。当初、「八幡まちづくり協議会・子ども育成部」が、八幡小学校に呼びかけて4名の児童で始めましたが、毎年塾生が増え平成29年2月閉講まで6年間に、延88名の江州音頭の歌い手『音頭取り』が育ちました。平成29年4月自主活動グループとして再スタートし、熱心な子ども達9名が湖国芸能を代表する『江州音頭』に取り組んでいます。

“江州音頭は楽しいが一番”を第一に児童達は学年を超えて仲良く練習し、歌だけでなくお囃子の太鼓、鐘、拍子木など全員が何でもこなせる“江州音頭子ども一座「はちまん江州音童」”が育ちました。可愛い、元気な歌声に各地で人気上がり、うれしい出演が増えています。



■オリエンテーション 移動・チェックイン 16:30～

■表彰者記念撮影 17:00～

■受賞者を囲む会・情報交換会（コンベンションホール淡海） 18:30～20:30

公益社団法人全国子ども会連合会表彰を受賞された指導者、育成者の方々の一層のご活躍、そして団体のますますの充実・発展を期待し、受賞をお祝いする会とします。全国各地で活発に活動されている子ども会の指導者、育成者の方々との情報交換の機会とし、子ども会の発展を誓い合ひましょう。

□2月24日（土） 第2日目 分科会

コンベンションホール淡海等 各会場

■9:00~12:00 12:00（昼食） 13:00~16:00

会場設営の関係上、分科会は全て事前申込み制としております。お申込みのない方は、分科会への参加をお受けできませんのでご注意ください。参加者定数を定めておりますので、申込み状況次第で、他の分科会をご提案させていただく場合がございます。予めご了承ください。また、開催時間の重ならない分科会に関しましては複数の申し込みが可能です。

| | 担当・時間・テーマ・内容 |
|-------|---|
| 第1分科会 | 担当：滋賀県子ども会連合会 9:00~12:00（淡海1） |
| | テーマ：コミュニケーションゲームを通して「つながる」コツ |
| | 子どもたちは遊びを通して勝ち負けやゆずり合い、協力することを経験していきます。近年、うまく人間関係が作れなかったり、さらに関係を持つことも拒否してしまう若者や大人が増加している中、「みんなと一緒に遊ぶことの見直し」が高まっています。異年齢集団の中での交流やさまざまな体験をしながら、遊びの必要性や「つながる」コツをぜひ体得してください。 |
| 第2分科会 | 担当：（一財）大阪府子ども会育成連合会 9:00~12:00（淡海2） |
| | テーマ：「事業の作り方・子どもたちとのコミュニケーションの取り方」 |
| | 「行事」では「事業」を創り、子どもたちが次も参加したい、友達も誘いたいと思える活動の提供や子どもたちとのコミュニケーションの取り方、ジュニアリーダーの育成方法などを具体的に紹介します。 |
| 第3分科会 | 担当：奈良県子ども会連合会 9:00~12:00（淡海3） |
| | テーマ：奈良県・斑鳩（いかるが）町子連の活動紹介について ～魅力ある子ども会活動を目指して～ |
| | 単位子ども会加入数の減少が課題となっている市町村子連は多いと思います。その要因として、 ①単位子ども会の会員数が10人程度に減少しているところが増加している。 ②単位子ども会の育成者が世話役代表を嫌がる傾向にある。 ③市町村子連の開催行事に参加意欲を高めるものが少ない。 などが考えられます。斑鳩町子連では、単位子ども会の活動をサポートする行事の開催、および参加して楽しい行事の開催を通じて、魅力ある子ども会作りを目指しています。 |
| 第4分科会 | 担当：和歌山県子ども会連絡会 9:00~12:00（淡海5） |
| | テーマ：「稲むらの火」から防災を考える |
| | 思わぬ災害！いつ自分の身に降りかかるか誰にも予測できません。いざという時に備え、防災に関する意識を高め、知識を深めるために一緒に学びませんか？ 子ども会活動において、防災や安全に関する知識は不可欠です。本分科会では、和歌山県広川町稲むらの火の館（濱口梧陵記念館・津波防災教育センター）館長崎山光一氏より、防災の神様として知られる「濱口梧陵」の偉業や災害についてご講演いただき、地域や子ども会活動における防災について考えます。 |
| 第5分科会 | 担当：（一社）兵庫県子ども会連合会 9:00~12:00（淡海6） |
| | テーマ：いきいきとしたグループ活動を考えてみよう！ |
| | 単位子ども会の指導者、育成者は小集団活動を運営する役割を担っています。いきいきとした子ども会活動に向けてグループワークを通じて効果的なグループ運営を考えます。 |

| | |
|---|---|
| 第6分科会 | 担当：（公社）全国子ども会連合会コース 9：00～16：00（淡海7） |
| | テーマ：人づくり“共に学び、共に成長する” |
| | <p>人が豊かで幸せな生涯を過ごすために、最も必要な社会性（コミュニケーション能力）を身に付けるには、共に活動する仲間同士で、「自分の目で相手のことをちゃんと見て」、「自分の言葉で相手にしっかり伝え」、「自分の耳で相手の言葉を真剣に聞く」、これを繰り返すことによって「仲間のことを知り、自分のことも知ってもらおう」、そこで相互の理解が生まれ、それが人の輪につながる。これが基本であり、重要な一歩だと言えましょう。そして自分自身の力を高めることが出来る一番大切な学びだと思いません。</p> <p>私たちは決して一人で活動をしているわけではありません。仲間で活動しています。個々の力を高めること、それを維持させ続けること、そしてその個々の力をチームとして大きな力にし、その力を維持させ続けること、それは子ども会に関わるすべての人の成長につながっていきます。</p> <p>今回は、当たり前と見過ごされがちな部分にあらためて目を向けることにより、「人づくり」に繋がる最初の一步を共有する時間にしたいと思います。</p> |
| 担当：（公社）全国子ども会連合会・大分県子ども会育成会連絡協議会 13：00～16：00（淡海5） | |
| 第7分科会 | テーマ：JL指導育成と地区JL研修大会の運営について |
| | <p>担当県によって違いが大きい現状があります。指導育成という面から基本的な部分は毎年統一された内容の研修が必要と思われます。大分県での地区JL研修大会を通して提言を試みます。</p> |
| 第8分科会 | 担当：（公社）全国子ども会連合会子ども会未来委員会 13：00～16：00（淡海6） |
| | <p>テーマ：平成も30年！あらためて子ども会の目的（理念）を考える</p> <p>諸環境が大きく変わる中で子ども会の未来を考え行動する時にその目的（理念）を共有することが重要となります。子ども会の目的（理念）をあらためてみなさんと共有できるよう提言いたします。</p> |
| 第9分科会 | 担当：滋賀県子ども会連合会 13：00～16：00（淡海8・9） |
| | <p>遊びの宝島へGO！</p> <p>地域社会の中で育つ子ども達にとって有益な原体験を促進するために、どのように取り組み、活動していくのか、体験活動や交流活動を実践する。</p> |
| 第10分科会 | 担当：滋賀県子ども会連合会 会場・滋賀県立琵琶湖博物館 9：00～16：00（船で博物館へ移動） |
| | <p>琵琶湖の自然から未来を考える ～子どもたちにつなぐもの～</p> <p>世界に10余りある古代湖のひとつであり、自然的・文化的にも多様な価値を持っている琵琶湖。湖と人間との悠久の関わりの魅力を紹介します。湖と人との共存関係を探り、自ら考え次世代へと環境の未来をつなぐ方策を考える。</p> |

分科会プログラム：コンベンションホール淡海等

| 時間 9:00～12:00 | | | | | 時間 13:00～16:00 | | | | |
|---------------|--------|---|----|------|---|--------------|---------------------------|-----|--------|
| 分科会 | 担当 | 内 容 | 定員 | 会場 | 分科会 | 担当 | 内 容 | 定員 | 会場 |
| 1 | 滋賀 | コミュニケーションゲームを通して「つながる」コツ | 60 | 淡海 1 |  | | | | |
| 2 | 大阪 | 「事業の作り方・子どもたちとのコミュニケーションの取り方」 | 80 | 淡海 2 | | | | | |
| 3 | 奈良 | 奈良県・斑鳩(いかるが)町子連の活動紹介について ～魅力ある子ども会活動を目標して～ | 70 | 淡海 3 | | | | | |
| 4 | 和歌山 | 「稲むらの火」から防災を考える | 60 | 淡海 5 | 7 | 全子連・大分 | JL指導育成と地区JL研修大会の運営について | — | 淡海 5 |
| 5 | 兵庫 | いきいきとしたグループ活動を考えてみよう！ | 80 | 淡海 6 | 8 | 全子連子ども会未来委員会 | 平成も30年！改めて子ども会の目的（理念）を考える | — | 淡海 6 |
| 6 | 全子連コース | 人づくり “共に学び、共に成長する” | | | | | | — | 淡海 7 |
| | | | | | 9 | 滋賀 | 遊びの宝島へGO！ | — | 淡海 8・9 |
| 10 | 滋賀 | 琵琶湖の自然から未来を考える ～子どもたちにつなぐもの～ | | | | | | 200 | 琵琶湖博物館 |

琵琶湖博物館 びわこはくぶつかん

「人と湖」をテーマに、琵琶湖の生い立ち・人と生き物との関わりについて家族で楽しみながら学べる「体験型」博物館です。

淡水の生き物の展示としては日本最大級の水族展示は、2016年夏にリニューアルしてパワーアップ。関西ではここでしか見られない大人気のバイカルアザラシは必見です。

古代の湖周辺の様子を再現した原寸大ジオラマ、さまざまな生きものの化石や骨格標本、かつて湖上交通の主役だった丸子船の実物など、迫力ある展示が並んでいます。

ディスカバリールームでは子供から大人まで五感を使って楽しめます。

琵琶湖博物館公式ホームページより



■大型豪華客船 ビアンカ



琵琶湖汽船公式ホームページより



□2月25日（日）第3日目

船❀ビアンカ❀

★集合：9：00 びわ湖大津プリンスホテル棧橋

■全体会 9：30～

分科会の発表

総評

■閉会式 11：00～

●閉会式

1. 開式の言葉
2. 主催者挨拶
3. 感謝状贈呈

公益社団法人全国子ども会連合会より近畿地区子ども会連絡協議会へ感謝状を贈呈します。

4. 大会旗引継ぎ
5. 次期開催地区紹介・挨拶
6. 万歳三唱
7. 閉式の言葉

★解散は12：00頃

大津港、およびびわ湖大津プリンスホテル棧橋となります。

びわ湖大津プリンスホテルまでのご案内

びわ湖大津プリンスホテル

〒520-8520 滋賀県大津市におの浜4-7-7 電話077-521-1111

JR大津駅よりシャトルバス、タクシー約10分

名神・大津インターチェンジよりお車約10分

無料シャトルバス乗り場のご案内

JR大津駅⇄びわ湖大津プリンスホテル直行

無料シャトルバスのりば

駐車場④ 大津パークビル 達坂ビル 駐輪場

滋賀銀行 日本生命ビル 滋賀ビル

路線バスのりば なぎさ公園線②のりばより(有料)

タクシーのりば

JR大津駅 改札 売店

北口(琵琶湖口)

← 至 京都 → 至 石山 →

① 大津駅北口を出る。

② 駅前のスクランブル交差点を左斜めに渡る。

③ まっすぐ50メートル程で無料シャトルバスのりばです。

JR大津駅北口の改札から道路を挟んだ向かい側左手・日本生命ビルより約50m琵琶湖側(北側)に「無料シャトルバスのりば」の青い看板を設置しております。

| 平日<ホテルバス> | | | |
|-----------|----------------|----|---------|
| | びわ湖大津プリンスホテル 発 | | JR大津駅 発 |
| 8 | 15 | 45 | 30 |
| 9 | 15 | 45 | 00 |
| 10 | 15 | 45 | 00 |
| 11 | 15 | 45 | 00 |
| 12 | 15 | 45 | 00 |
| 13 | 15 | 45 | 00 |
| 14 | 15 | 45 | 00 |
| 15 | 15 | 45 | 00 |
| 16 | 15 | 45 | 00 |
| 17 | 15 | 45 | 00 |
| 18 | 15 | 45 | 00 |
| 19 | 15 | 45 | 00 |
| 20 | 15 | 45 | 00 |
| 21 | 15 | | 00 |

| 土・休日<近江鉄道バス> | | | |
|--------------|----------------|-----|---------|
| | びわ湖大津プリンスホテル 発 | | JR大津駅 発 |
| 8 | *15 | *45 | *30 |
| 9 | *15 | *45 | *00 |
| 10 | 15 | 45 | *00 |
| 11 | 15 | 45 | 00 |
| 12 | 15 | *45 | 00 |
| 13 | *15 | 45 | *00 |
| 14 | 15 | 45 | 00 |
| 15 | 15 | 45 | 00 |
| 16 | 15 | 45 | 00 |
| 17 | 15 | 45 | 00 |
| 18 | 15 | 45 | 00 |
| 19 | 15 | 45 | 00 |
| 20 | 15 | 45 | 00 |
| 21 | 15 | | 00 |

*印はホテルバス。

全国子ども会連合会

第51回全国子ども会育成中央会議・研究大会

< お申込み手続きについて >

～事前アンケート・レポートを必ずご提出ください～

①子ども会関係者、指導者・育成者、子ども会担当の行政職員の方

所定の参加申込み用紙により、必要事項を漏れなく記入し、お住まいの都道府県・指定都市の子ども会連合組織の事務局へお申込みください。

◎お申込み者 → 都道府県・指定都市の子ども会連合組織 → 名鉄観光サービス

②子ども会に所属のない方

都道府県・指定都市子ども会連合組織からお申込みのできない場合は、全国子ども会連合会へお問い合わせください。

◎お申込み者 → 全国子ども会連合会 → 名鉄観光サービス

■参加申込み〆切

平成29年12月20日(水) 【必着厳守】

*上記〆切日は、名鉄観光サービスへの お申込み〆切日です。

*お住まいの都道府県・指定都市の子ども会連合組織ごとに独自にお申込み〆切日を設けておりますので、ご注意ください。

■参加対象者

- 都道府県・指定都市の子ども会組織の関係者
- 市区町村及び地域の子どもの会を育成する子どもの指導者・育成者
- 都道府県・指定都市、市区町村の子ども会担当の行政職員
- 学校教育、少年教育施設関係者
- 生涯学習コース、教育学部等の大学生
- 子ども会活動及び本事業の内容に興味関心のある方

■参加申込み先

※ 都道府県・指定都市子ども会連合組織は、下記あて郵送またはFAXにてお申込みください。郵送の場合は、控えを必ずお取りください。

※ 個人でのお申込みは、直接お受けできません。全国子ども会連合会へお問い合わせください。

====名鉄観光サービス(株)大津支店【全国子ども会育成中央会議・研究大会係】=====

【お申込み・お問合せ先】(受付業務代行) 名鉄観光サービス(株)大津支店

TEL:077-510-0100 FAX:077-510-0030

〒520-0056 滋賀県大津市末広町1-1 日本生命大津ビル

(営業時間) 月～金曜日 9:30～18:00 土・日曜・祝日は休業

(年末年始12月29日～1月4日は休業)

=====

■参加諸経費

- 参加費 参加者1名につき 3,000円
- 受賞者を囲む会・情報交換会 参加費 10,000円(税金・サービス料含む)
- 昼食(2月24日昼食・お弁当1,200円)

■事前アンケート・レポートの提出

- 事前アンケート・レポートは、必ず参加者本人がお書きください。
- 事前アンケート・レポートは、都道府県・指定都市子ども会連合組織でお取りまとめの上、全国子ども会連合会へ平成30年1月16日(火)までにお送りください。

☆ 第51回全国子ども会育成中央会議・研究大会に関するお問合せは・・・



公益社団法人
全国子ども会連合会

〒112-0012 東京都文京区大塚6-1-14 全国子ども会ビル

TEL:03-5319-1741(代) FAX:03-5319-1744

http://www.kodomo-kai.or.jp/ E-mail zenkoren@kodomo-kai.or.jp

「シニア、ジュニア・リーダーが進める

子どもの手による子ども会！」

「子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能！」

「遊びは子どもの力

くしなやかな感性を持った子どもの育成をく

「未来の子ども会のカタチをつくらう！」



◆全子連標語最優秀作品◆



「会員の輪を広げよう」
ひろげよう ちいきでそだてる 子ども会



「交通安全推進」
手を挙げて 車にサイン 事故防止



「防災」
避難場所 家族で言える合言葉



「スポーツ事故防止」
無理せずに休む勇気もスポーツマン